

## ○研究課題名

眼屈折測定器機 Spot™ Vision Screener 使用における信頼性評価と課題の検討

○研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 教授 木内 良明

○研究期間 2021年3月11日(委員会承認後)~2025年3月31日

## ○研究対象者

2020年12月1日から2023年11月30日までに、広島大学病院眼科で Spot™ Vision Screener を用いて検査を行った就学前の患者さん。および全身疾患もしくは眼疾患があり、他の屈折検査機器にて測定が困難であったが Spot™ Vision Screener にて検査が可能であった患者さん、先天白内障術後のハードコンタクト上におけるオーバーレフラクション検査が必要であった患者さんです。

## ○研究の意義・目的

Spot™ Vision Screenerは目の屈折(近視・遠視・乱視)を簡易的に測定できるスクリーニング器機として2015年から日本での使用が開始されました。これまでに小児科領域や検診での使用経験についてまとめた報告が出ていますが、大学病院での使用報告は今日まで数例ほどです。本来はスクリーニング機器のため小児科や検診での使用が望まれる一方で、大学病院でも他の屈折検査機器で測定困難な患者は多く来院するため、2020年9月より本院に導入された本機を用いて測定したデータを収集し、その有用性とデータの信頼性について検討し報告します。

## ○研究方法

本研究は、全て診療録(カルテ)情報を転記して行います。

研究に用いるデータは、眼疾患名、手術歴、年齢、性別、視力、屈折、眼位、瞳孔径であり、研究は同一施設内に限り情報は外部には提供いたしません。診療録から得られたデータから、氏名、生年月日などの個人を識別可能な情報を削除し、個人情報とは無関係の番号を付け、匿名化を行います。

## ○共同研究機関

なし

## ○試料・情報の管理責任者

広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 教授 木内 良明

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5247

広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学

教授 木内 良明 (研究責任者)

視能訓練士 中村 祐子 (担当者)